

入善町議会報告

2025年 4月5日 発行 議会会派 日本共産党
入善町春日251 電話・FAX 74-0819

3月議会



松田俊弘議員

一般質問で松田俊弘議員は「町の支出に占める土木建設費の割合は、令和4年度まで13・7%より極端に高くなっています。公共事業優先でなく、住民の暮らしと福祉優先の財政運営に改めるべきだ」と質しました。

岡島財政課長は「各地区コミュニティ施設の建設に始まり、消防防災センター整備や

小学校大規模改修事業、保育所整備、中央公園改修事業など、必要な事業を順次実施してきたことから、近年は高い割合となっている。ただ

年ごろがピークとみている。岡島課長は「新庁舎整備の計

一般質問で松田俊弘議員は「町の支出に占める土木建設費の割合は、令和4年度まで

の10年間の平均で21・9%と、上市町の11・5%、立山町の13・7%より極端に高くなっています。公共事業優先でなく、住民の暮らしと福祉優先の財

政運営に改めるべきだ」と質しました。

松田議員は「令和2年ごろまでは借金の返済額は13億円前後だった。令和4年から令和6年までは15億円台に増えおり、返済額が財政を圧迫しかねない。今後の返済額をどう見ているのか」と質問。

岡島財政課長は「新庁舎整備の計

介護事業所は経営の危機 制度が機能を果たさず

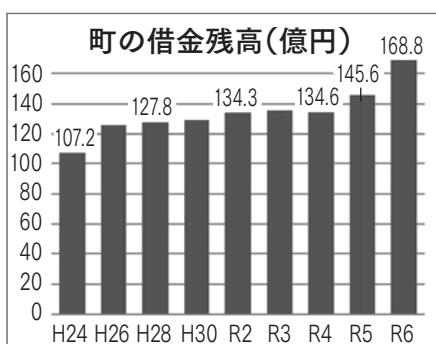
町長



井田義孝議員

国が介護事業所に支払う介護報酬が低すぎて、町内の介護事業所では「訪問用の車を買いたい」と質問で井義孝議員は「町内の事業所の実態をどう把握しているか。町の危機に瀕しています。

大型事業ばかりでなく暮らし福祉を優先に



自治体独自の介護職員・事業所への支援措置のある地方債など、有利な財源を確保し実施してきました」と答えました。

自治体独自の介護職員・事業所への支援

- 新潟県柏崎市は、夜勤手当の増額分を補助。
- 千葉県流山市は、給与に上乗せ補助。
- 東京都は、居住手当に補助。
- 新潟県村上市は、訪問介護事業所の減らされた介護報酬分を補填。

三月定例会では新年度の一般会計予算と5件の特別会計予算、令和6年度の一般会計補正予算と4件の特別会計補正予算、及び20件の条例改正など全て可決されました。日本共産党は、新年度の一般会計と保険税の賦課限度額を引き上げる国民健康保険特別会計、及び1人、2人世帯の使用料が高い下水道特別会計予算に反対しました。

町が職員の待遇改善を

町長 恒常に続けられるか検討

重要な支援を検討したい」と答弁しました。

その前に町が独自に緊急支援をすべきだ。このままでは町營介護事業所の設置も覚悟しなければならなくなる」と質問。

井田議員は代表質問の回答で、アラート冒頭で次のように述べました。

核抑止力論による安全保障は機上の空論であり、EUの向かうべきは核武装ではありません。

日本は道理のないアメリカに無条件に付き従うのではなく、核兵器禁止条約に署名、批准し独自の立場でロシアに即時停戦、平和の構築を訴えるべきです。

除雪されない私道の対策を

当局 助成制度を利用し地区の共助で



町道の機械除雪

除雪されるのは不公平だ。町内には融雪装置もなく除雪車も入らない袋小路のよう

な私道がたくさんあります。

井田議員は「町道ではないので優先されないのは理解で

きるが、家の建つ位置だけで

除雪されないのは不公平だ。

高齢者の生活安全や災害時の

安全確保にも問題がある。町

道の除雪後でもいいので柔軟

な対応ができないか」と質問。

西島建設課長は「町は基本

助でお願いしたい。地域ぐる

み除雪や高齢世帯への除雪

助成金制度、ボランティアボ

イント制度など町の助成制度

で除雪を行う場合の機械

購入などへ支援を拡充してほ

しい」と質問。

西島課長は「おおむね25m

以上の路線を住民が継続的に

除雪、機械管理する場合、40

万円以上の機械の1/3、ま

たは20万円の低い方を助成し

ている。地域とともにどのよ

うな対策ができるか調査・研

究していきたい」と答弁。

これは、段差などを解消し身体的弱者に優しいバリアフリーな街づくりを行うためのもので、中心となる入善駅へのエレベーター設置も計画に含まれます。井田議員は「どのような計画でエレベーター設置を考えてい



入善駅

町単独でも可能なのか
井田議員は「もし事業が進まない場合、町単独で出資してエレベーターを設置する事は可能か」と質問。



井田義孝議員

入善駅

町がバリアフリー計画策定へ

新年度予算には入善駅周辺地区のバリアフリー基本構想策定予算が計上されています。これは、段差などを解消し身体的弱者に優しいバリアフリーな街づくりを行うためのもので、中心となる入善駅へのエレベーター設置も計画に含まれます。井田議員は「どのような計画でエレベーター設置を考えてい

コメの安定供給に農家の所得補償を市場任せで米価は乱高下



松田俊弘議員

農水省の資料では、令和5年6月までの1年間の主食用米の需要量705万tに対し、収穫量は661万tに留まり44万tも足りていません。

松田議員は「最近の米価高騰は生産が必要に追い付いていないことが主な要因ではないか」と質しました。

長島がんばる農政課長は「町としては、農水大臣が述



土改剤散布に励む農家

べているように、国内には十分に米の在庫はあるものと考えている」と答弁。

平成5年当時の県産コシヒカリの生産者米価は、60kgで2万4千円近くありましたが、平成の後半になるとその半分

程度という状態が続き、農家の収入も激減しました。

松田議員は「生産資材の高騰などでも農家は疲弊しておりますが、安定的な米の生産のため、政府が農家の所得を補償するよう求めていくべきだ」

長島課長は「米の安定生産には需給バランスが大変重要な役割を果たす」と質しました。

国や県にも要望していく」と答えました。

県魚津断層帯も被害想定調査の対象に町独立した災害対策部署を設けず

松田議員は「県は、昨年8月に新たに15本の活断層について地震や津波による被害想定の調査を行うと発表した。や大雨など自然災害が多発する魚津断層帯は調査対象になっているのか」と質問。

梅沢総務課長は「当初は調査の対象にはなっていなかつたが、昨年11月に開催されたワントームとやま連携推進本部会議において、魚津断層帯も調査対象に加えるべきとの意見があつたことから、魚津断層帯も調査対象に加えたと県から聞いている」と答弁。

若林キラキラ商工観光課長は「令和7年度にバリアフリー基本構想を策定し、並行して

いは調査をしてみないとわからないとの事だが、滑川駅では4億2千万円程度だったところだと」と答えました。

松田議員は「町の防災担当部署は総務課の防災係だが、黒部市や魚津市のように総務課から独立した防災危機管理

部署でも各分野で必要となる化していくべきだ」と質問。

梅沢課長は「近年、大地震による現時点では、防災業務を集約するなど、単独で専門化・大規模化し、災害対策に係る行政需要が年々増大していることから、総務課以外の

対策を進めるような組織変更は計画していない」と答えました。

長島課長は「多くの組織で、米不足や米余りにならないよう、JAみな穂など関係機関と連携しながら、農家の農組織では扱い手不足が心配

所得安定に取り組むとともに、農家の農組織では扱い手不足が心配

される。作業の効率化などのための機械類の導入に町は積極的に支援すべきだ」と質問。

長島課長は「多くの組織で構成員の高齢化が課題となっている。機械類の導入の計画があれば、有効な支援事業がないかと一緒に考えるので、気軽に相談していただきたい」と答えました。

集落営農の資機材購入に積極的支援を

松田議員は「町内の集落営農組織では扱い手不足が心配

と質しました。

長島課長は「米の安定生産には需給バランスが大変重要な役割を果たす」と質いました。

松田議員は「町内の集落営農組織では扱い手不足が心配

と質しました。



松田俊弘
井田義孝

入善町春日 251
入善町芦崎 549

電話 74-0819
電話 76-0856

新年度の一般会計予算と下水道特別会計予算、(日本共産党)	国民健康保険特別会計予算の反対討論	下水道特別会計予算
松田議員は「町の防災担当部署は総務課の防災係だが、黒部市や魚津市のように総務課から独立した防災危機管理	町内の介護事業所は経営の危機だ。このままでは町内の高齢者が介護サービスを受けられなくなる。	室などを設け、災害対策を強化していくべきだ」と質問。
若林キラキラ商工観光課長は「令和7年度にバリアフリー基本構想を策定し、並行して	内に3億円近い地域福祉基金を活用し、訪問介護の減収補填や職員の夜勤手当への補助、物価高騰対策などを強化すべきだ。	防災・減災対策に取り組んでいる。現時点では、防災業務を集約するなど、単独で専門化・大規模化し、災害対策に
新年度予算には入善駅周辺地区のバリアフリー基本構想策定予算が計上されています。	付けてもらう。協議が整えば設計に入していく。事業費については調査をしてみないとわからないとの事だが、滑川駅では4億2千万円程度だったところだと」と答えました。	的に対策を進めるような組織を構成するので、有効な支援事業がないかと一緒に考えるので、気軽に相談していただきたい」と答えました。
町単独でも可能なのか 井田議員は「もし事業が進まない場合、町単独で出資してエレベーターを設置する事は可能か」と質問。	松田議員は「町の防災担当部署は総務課の防災係だが、黒部市や魚津市のように総務課から独立した防災危機管理	と質しました。

松田議員は「町の防災担当部署は総務課の防災係だが、黒部市や魚津市のように総務課から独立した防災危機管理

部署でも各分野で必要となる化していくべきだ」と質問。

梅沢課長は「近年、大地震による現時点では、防災業務を集約するなど、単独で専門化・大規模化し、災害対策に

的に対策を進めるような組織を構成するので、有効な支援事業がないかと一緒に考えるので、気軽に相談していただきたい」と答えました。

長島課長は「多くの組織で構成員の高齢化が課題となつていて、機械類の導入の計画

があれば、有効な支援事業

があれば、有効な支援事業

が、国の制度を使った有利な財源を使いたい」と答えました。

生活相談は日本共産党入善町議会議員

松田俊弘
井田義孝

入善町春日 251
入善町芦崎 549

電話 74-0819
電話 76-0856